

I. 調査概要

航空機による研究施設環境への影響を確認するため、飛行時における実態等を把握。

1. 騒音、低周波音等の測定
2. 精密機器の常時微動測定
3. 実験動物の行動観察 等

II. 調査対象施設

神奈川県川崎市川崎区殿町地区 キングスカイフロント内研究施設

III. 調査期間

2020年11月27日～2021年7月16日

調査結果

1. 騒音、低周波音等の測定

- ・動物室や精密機器設置室では、飛行時と非飛行時とで騒音レベルの差はほとんど見られなかった。
- ・空港に面する会議室等では、飛行時に騒音レベルの上昇が見られた。一方、当該会議室等は、学校等の騒音防止工事に対して国が補助を行う際に適用される遮音性能と同程度の遮音性能を有していることを確認した。

2. 精密機器の常時微動測定

- ・ナノ加工機、電子顕微鏡、電子天秤では、飛行時と非飛行時とで振動レベルの差はほとんど見られなかった。
- ・ナノ加工機、電子顕微鏡はメーカーの定める設置基準をほぼ下回り許容範囲内、電子天秤は設置基準が定められていないものの、防振台の上に設置されていることから、航空機の飛行による特段の影響は見られなかった。

3. 実験動物の行動観察

- ・動物室内において、60日間マウスの行動観察を行ったところ、異常行動等を示す個体は確認されなかった。
- ・観察期間中のマウスの活動量を分析した結果、航空機の飛行によるマウスの行動変容は確認されなかった。

4. 無線LAN周波数帯における周波数分析

- ・航空機の飛行によるノイズは確認されなかったことから、航空機の飛行による直接の関連性は見られなかった。

I. 調査概要

航空機による研究施設環境への影響を確認するため、飛行時における実態等を把握。

1. 実験動物の行動観察

II. 調査対象施設

神奈川県川崎市川崎区殿町地区 キングスカイフロント内研究施設

III. 調査期間

観察期間：2021年8月4日～11月1日（90日間）

調査結果

- 動物室内において、90日間マウスの行動観察を行ったところ、航空機の飛行による異常行動を示す個体は確認されなかった。
- 観察期間中のマウスの活動量を分析した結果、航空機の飛行によるマウスの行動変容は確認されなかった。

⇒以上のことから、航空機の飛行によるマウスへの影響は確認されなかった。